

第2期町田市特別支援教育推進計画の成果と課題

基本目標	具体的な取組	事業内容	評価	成果	課題
1 特別支援教育を推進する環境・体制の整備	(1) 小・中学校サポートルームの設置及び拠点校分割	通常の学級に在籍している情緒障がい等の児童生徒に対する指導内容の充実を図るため、サポートルーム(巡回型の通級)を全校に設置します。	◎	2016年度から段階的にサポートルームを設置し、2021年4月に市内全小中学校に設置が完了しました。また、2020年度及び2022年度にサポートルームの利用児童生徒数の増加を踏まえ、拠点校、巡回校再編を行いました。	・東京都の示した「特別支援教室の運営ガイドライン」に沿って指導期間等を見直したことによる今後の利用者数の動向や、新たな学校づくりによる統合を見据え、サポートルーム拠点校の再編を検討する必要があります。
	(2) 特別支援学級の整備	地域の状況や対象となる児童生徒数の状況を踏まえて特別支援学級固定級(自閉症・情緒障がいまたは知的)を整備します。	○	2020年4月に鶴川第四小学校、2021年4月に小山中央小学校、2022年4月に町田第三中学校に自閉症・情緒障がい特別支援学級を新規開設しました。	・各学校の特別支援学級の在籍児童生徒数の推移を注視するとともに新たな学校づくりによる統合を見据え、今後の特別支援学級の整備を検討する必要があります。また、サポートルームの環境整備についても継続して取組む必要があります。
	(3) 特別支援教育支援員の適正な配置	全小中学校に特別支援教育支援員を配置するとともに、配置基準等を見直し、安定的な人材確保に努めるとともに、各学校の状況に応じて適正な配置を行います。	○	特別支援教育支援員を全小中学校に配置し、さらに配置基準に基づき、各学校の特別支援学級に適正に配置しました。(2023年4月時点:小学校89名・中学校37名配置)	・特別支援教育支援員の支援力向上に向けた研修等の充実を図る必要があります。
2 特別支援学級・特別支援教室における指導力の向上	(1) 教員対象研修の充実	教員一人一人の指導力向上を図るため、特別支援教育教員研修会を充実します。 ①特別支援教育教員研修会(経験年数別研修) ②特別支援教育コーディネーター研修会 ③特別支援教室専門員研修	① ◎ ② ○ ③ ○	特別支援学級及びサポートルームの教員向け研修をコース別に分け、理解状況に応じて実施しました。 【研修回数】20年度:4回、21年度:5回、22年度:5回 特別支援教育コーディネーター向け研修会を実施しました。 【研修回数】20年度:4回、21年度:5回、22年度:5回 特別支援教室専門員向け研修会を実施しました。 【研修回数】20年度:2回、21年度:2回、22年度:3回	・教員研修を計画的に実施しました。①においては指導経験年数に応じて、研修内容を変更し実施方法等も工夫して実施しました。今後は、教員がもっている課題意識をどの程度研修に反映できるかを検討していく必要があると考えます。 ・特別支援学級から要望があった研修内容について、合同研修として周知し、研修の機会を増やしました。引き続きこの形式を活用し、教員の学びの場を増やしていきます。
	(2) 町田市特別支援教育授業リーダー育成事業の実施(2019～)	特別支援教育のモデルとなる授業を展開できる教員を発掘・育成し、特別支援教育における授業リーダーとします。授業公開や研修会での実践発表を通じ、他の授業改善につなげます。	◎	特別支援学級、サポートルーム、学級担任の中から授業リーダーを指定し、専門家による指導を行いました。コロナ禍が続く中、周知方法を工夫し、2022年度の授業公開・協議会には参加者が総計で50名を超えました。 【指定教員数】20年度:7名、21年度:6名、22年度:8名	・授業リーダーにおいては、継続的に育成を図りました。他の教員の授業改善につなげるために、リーダーの授業をより多くの教員が参観できるような手だてを講じていく必要があります。
	(3) 特別支援教育モデル校の指定(2019～)	自校の特別支援教育における課題を明確にし、研究開発を通じ課題解決を図ることで質的向上を目指し、特別支援教育推進モデル校を指定します。	○	1年目は町田第一小学校がMeetで、昨年度は真光寺中学校で対面にて研究発表会を実施しました。テーマや内容に合わせて各校の教員が参加しており、支援方法等について教員のニーズは一層高まっています。 【研究発表会回数】20年度:1回、21年度:1回、22年度:1回	・モデル校を継続的に指定し、研究実践を校外に発表することで、研究内容を周知しました。研究の成果を広く普及させるための手だてを引き続き講じていく必要があります。
	(4) 特別支援教育アドバイザー訪問(2018～)	サポートルーム、特別支援学級及び通常学級での効果的な経営、授業力向上のために、特別支援教育アドバイザーが学校へ訪問し、指導助言を行います。	◎	3年間を通して、ハンドブックを活用した校内研修会での講義に最も依頼がありました。その他、新設された情緒固定学級の指導状況、サポートルームの個別指導の状況、学級担任のUD授業の実施状況を把握するとともに、それぞれに指導助言を行いました。 【訪問校数】20年度:25校、21年度:27校、22年度:32校	・特別支援教育のより一層の推進を図るために、特別支援教育にかかわる校内研究の必要性を改めて周知していきます。
	(5) 要請訪問(2015～)	学校からの要請を受けて、指導主事、特別支援教育アドバイザー、特別支援教育専任相談員等が学校へ訪問し、特別支援教育の視点から指導助言を行います。	○	学校からの要請を受けて、指導主事等が訪問し、特別支援教育からの視点で指導助言を行いました。 【訪問回数】20年度:47回、21年度:54回、22年度:6回	・設置校長会では、学校との連携強化の機会と位置付け、積極的に情報交換を行うことで、施策の周知を図りました。協議会や連絡会においては、目的を明確にして実施していきます。交流教育連絡会においては、次年度を見据えた取り組みを行っていきます。
	(6) 関係者会議の充実	①特別支援学級設置校長会 ②中・高特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ③町田市子育てネットワーク連絡会 ④小学校・幼稚園・保育園・子ども発達センター・都立特別支援学校・学童連絡協議会 ⑤交流教育連絡会	① ○ ② ○ ③ — ④ ○ ⑤ ○	小中学校それぞれ年3回開催しました。 中・高特別支援教育コーディネーター連絡協議会を実施しました。 新型コロナウイルス感染症の影響により、開催しませんでした。 集合形式で開催せず、資料送付・電話連絡で実施しました。 開催方法をオンラインや書面等に変更し開催しました。	・現在のハンドブックの活用推進を引き続き図るとともに、現状を踏まえながら通常学級担任向け、通級指導担当教員向けなど指導対象者別のハンドブック作成を行っていきます。
	(7) 町田市特別支援教育ハンドブックの作成・活用(2020作成)	教員向けの特別支援教育ハンドブックを作成し、特別支援に関する基礎的知識の習得、及び指導力や専門性を向上につなげます。また、研修会等で活用していきます。	○	ハンドブックの内容については、庁内、学校、管理職、教育委員、学校関係者から好評をいただきました。学校における積極的なハンドブックの活用については、活用のためのリーフレットや校長会等における働き掛けをしましたが、5割程度にとどまりました。	
3 切れ目のない支援体制の構築	(1) 教育センターの支援	①就学・進学・入級相談会の充実 ②教育相談が行う家庭支援 I 教育相談体制の充実 II 保護者、市民に向けた特別支援教育に関する講座	○ I ○ II △	進学相談会において、運営方法を一部見直したことで、保護者や児童及び委員の負担の軽減に繋がりました。 タイムリーな相談に対応できるよう2021年度より心理士による電話相談を実施しました。 保護者及び職員向けに教育相談講座を実施しました。(20年度:1回、21年度:1回、22年度:1回)	・就学相談会等において保護者、児童生徒及び委員の負担軽減とより適正な相談会の運用方法等について継続して見直しを図ります。 ・教育相談における電話相談の充実と併せ、必要の際にすぐに相談先に繋がるよう相談機関に関する情報の周知を図ります。
	(2) 子ども発達支援課との連携	療育ノート、就学支援シート等の共有や就学相談会における情報提供等における連携	○	就学相談会における委員派遣、資料提供、また子ども発達センターでの就学相談説明会等を開催し、連携を図りました。	・切れ目のない支援の実現と近年の特別支援学級在籍者数、及びサポートルームの利用者数増加に対応するため、各関係機関との連携の強化や相談支援体制の充実が必要です。
	(3) 障がい福祉課との連携	放課後等デイサービスや障がい者支援センターの情報提供や推進計画等の作成協力	○	計画の進捗評価等における会議に参加し、連携を図りました。	・センターの機能を有する都立町田の丘学園との連携を強化し、町田市の特別支援教育の推進を図る必要があります。
	(4) 都立町田の丘学園との連携	町田市の特別支援教育を推進するためのセンター的機能を発揮した連携	○	町田の丘学園との交流教育連絡会の実施、副籍交流の対応、研修会における講師派遣等により連携を図りました。	
	(5) 医療関係者との連携	学校、保護者、医療関係者が情報を共有する体制の支援	○	医療的ケアが必要な児童の就学に際し、学校、保護者、関係機関と連携・情報共有を行い、安心して就学できるよう支援しました。	